

令和2年度

# 西宮文学案内

春期講座

古くから文学作品などに登場することの多かった西宮。  
関わりある作家や作品をとり上げその魅力を探っていきます。

## 第1回 4月26日(日) 西宮ゆかりの作家 藤本義一の思い出

14:00～15:30

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

### 延期いたします。

作家 藤本義一 西宮市内で阪神淡路大震災に遭い、被災者のために活動しました。西宮とゆかりの深い直木賞作家 藤本義一

対談：中田有子 なかた ゆうこ (長女) 藤本 義一 藤本 義一 (次女)

芦屋市奥池町「藤本義一の書斎」館長「アスベ」 1963年、堺市出身。9歳より西宮在住。切り絵やスト疾患と家族の患者会 (秋期講座として振替実施予定です。

河内厚郎 かわうちあつろう (日程等詳細は未定です。)

1952年西宮市生まれ。演劇評論家として執筆業に入る。「関西文学」編集長を2期15年務める。兵庫県立芸術文化センター・特別参与。阪急文化財団理事。西宮市文化振興財団評議員。著書に「わたしの風姿花伝」「淀川ものがたり」など。時事通信の書評を担当。



※ 藤本統紀子さんは出演しません。

## 第2回 6月14日(日) 阪神淡路大震災の5年作家たちは如何に伝えたか

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

### 延期いたします。

阪神・淡路大震災では西宮で被災した作家たちも心に痛手を受けた。5年経った今、彼らがどのように震災を伝えたか、小松左京、(秋期講座として振替実施予定です。

河内厚郎 かわうちあつろう (日程等詳細は未定です。)



## 第3回 8月2日(日) 小田実と戦後デモクラシー

14:00～15:30

永遠の世界旅行記『何でもみてやろう』や「ベ平連」などの反戦平和運動、また震災後「被災者生活再建支援法」成立に大きく寄与した小田実氏は、ロータス文学賞、川端康成文学賞受章作家。阪神間モダニズムを愛し、住み、西宮や神戸が舞台の小説や評論も多数。ギリシャ古典文学がルーツの小田氏と戦後デモクラシーの軌跡を辿ります。

対談：山村雅治 やまむらまさはる (詩人・作家)

1952年芦屋市生まれ。「山村サロン」創設。小田実の知遇を得て文学サロンを始める。阪神・淡路大震災を機に被災者支援のため小田氏と活動。著書多数。

戸田栄 とださかえ (毎日新聞社会部編集委員)

社会部記者から、広島支局長などを経て現職。2009年には「無保険の子救済キャンペーン」で日本新聞協会賞を受賞。

河内厚郎 かわうちあつろう (文化プロデューサー)



会場 西宮市立勤労会館 ホール (松原町2番37号) ※ 全回とも  
・JR「西宮駅」南徒歩7分 ・阪神「西宮駅」東徒歩10分

▲単発受講可。但し、抽選となる場合は連続受講希望の方を優先します。

定員▲各回400名

受講料▲各回500円

お申込み▲ハガキ、FAX、ホームページ“お問い合わせ欄”の何れかにて①受講希望日  
②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦電話番号を記入の上お申込み  
ください。

締切/4月10日(金) 必着 ※ 定員に満たない場合は締切後も受け付けます。

宛先▲〒662-0918 西宮市六湛寺町10番11号

(公財)西宮市文化振興財団「西宮文学案内」係

FAX.0798-33-3455 ホームページ <https://nishi-bunka.or.jp/>

※ 複数名でのお申込み(3名まで可)は、全員について上記①～⑦を記入ください。

※ 定員を超えた場合は抽選で受講者を決定します。当落結果は4月中旬に郵送します。